

島国マダガスカル你的生活文化

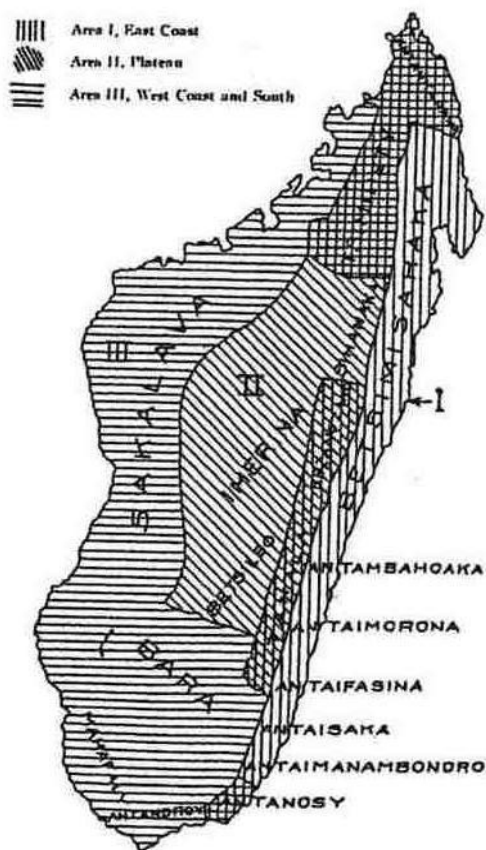
もりやま たくみ
森山 工

I マダガスカル

- ・インド洋西域（アフリカ大陸東南の沖合）に位置する島，面積およそ 59 万平方キロ
- ・さまざまな文化要素の混濁：東南アジア島嶼部（オーストロネシア）の文化要素を基盤とし，バンツ系，アラブ系，ヨーロッパ系の文化要素などが加わる

II マダガスカル文化の統一性と多様性

- ・文化的統一性：オーストロネシア語族に属するマダガスカル語、東南アジア島嶼部由来の稲作（水田稲作・焼畑稲作）の卓越
- ・文化的多様性：方言差、稲作以外の生業の重要性（下図参照）



マダガスカル文化領域

Area I 東海岸部

濠のない村落、高床式家屋、高床式倉庫（ネズミ返し）、土器不在（竹筒で調理）、水稻・陸稲耕作（棚田不在、直播、穂摘み）、くり船（アウトリガーなし）

Area II 中央高地部

丘上の環濠村落、平土間家屋、地面下貯蔵、水稻耕作（棚田、移植、根刈り、灌漑排水）、くり船（アウトリガーなし）

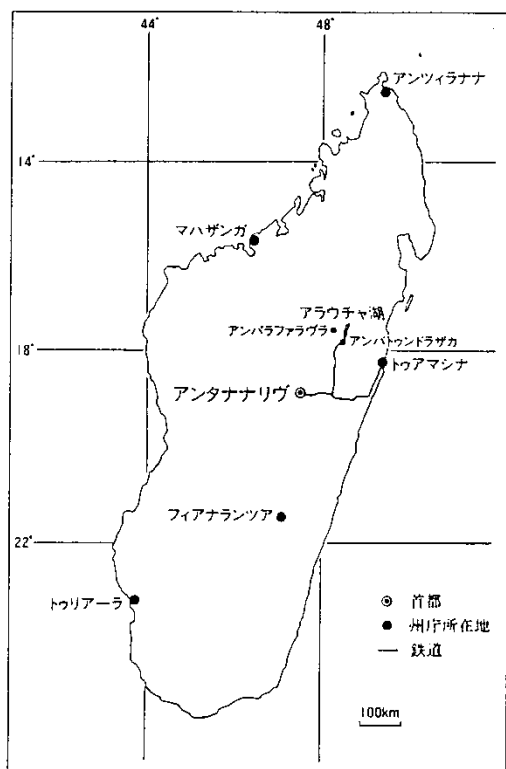
Area III 西岸部・南部

村の防御設備少ない、平土間家屋、貯蔵庫なし、稲作未発達（イモ類が主食）、牧畜の重要性（牛乳の消費）、アウトリガー付きカヌー

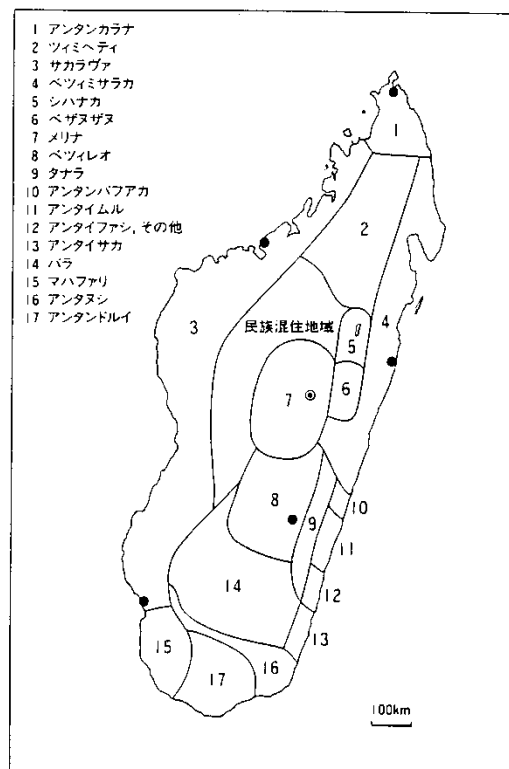
出典：Ralph Linton, "Culture Areas in Madagascar," *American Anthropologist*, 30 (3), 1928, p. 36.

Ⅲ 島国マダガスカル你的生活文化

- ・マダガスカル中央高地北東端
- ・マダガスカル最大の湖、アラウチャ湖(Alaotra)を擁する盆地
- ・シハナカ(Sihanaka)と呼ばれる人々が主として居住する地域
 - ⇒ 丘のシハナカ (19世紀の入植民) / 水辺のシハナカ (在来のシハナカ)
- ・季節のリズム：11月～4月頃＝雨季（農繁期） / 5月～10月頃＝乾季（農閑期）
- ・水田稲作
- ・稲作と結びついた牛牧
- ・農閑期におこなわれるさまざまな祭儀：割礼、婚礼、ファマディハナ(*famadihana*)



地図1 アラウチャ湖の所在



地図2 マダガスカルにおける諸民族分布図

出典：Association des Géographes de Madagascar 1969-1971；
Dandouau 1922；Deschamps 1972[1960]；Poirier and Dez 1963；

【参考文献】

- 飯田卓・深澤秀夫・森山 工 編著『マダガスカルを知るための 62 章』（エリア・スタディーズ 118）、明石書店、2013年。
- 『自然と文化そしてことば』2号（「特集：インド洋の十字路 マダガスカル」）、発行：胡蘆舎、発売：言叢社、2006年。
- 森山 工『墓を生きる人々 — マダガスカル、シハナカにおける社会的実践』東京大学出版会、1996年。